

沼津市立病院広報誌

numa **p**ital

ぬま **ピ**タル

vol.29
Apr.2024



認定看護師は現場の スペシャリスト

認定看護師制度とは、医療の高度化・専門化に伴い、特定の看護分野に精通した看護師、一般の看護師をマネジメントできる看護師を育成することなどを目的として、1995年に日本看護協会が創設したしくみです。

認定看護師の資格を取得するためには、日本看護協会の認定看護師認定審査に合格する必要があります。

現在、沼津市立病院には、救急看護、集中ケア、がん性疼痛看護、摂食・嚥下障害看護、脳卒中リハビリテーション看護、皮膚・排泄ケア、感染管理、認知症看護の8分野の認定看護師が在籍し、病棟、一般外来、専門外来など複数の分野にまたがって活躍しています。認定看護師は、スペシャリストとして重要な看護を任されることが多く、熟練した技術と豊富な知識を用いて、患者さんや家族に対して質の高い看護ケアを提供しています。

感染管理



白井看護師

感染防止対策室の専従として、患者さんや職員をはじめ、病院内に出入りするすべての人を感染から守るために多種職で構成するICT(Infection Control Team)メンバーと共に感染管理を行っています。

院内に限らず院外の地域連携病院や、高齢者施設での感染対策等の指導についても、県や保健所などと連携して行っています。

集中ケア



齋藤看護師
大高看護師

重症で集中治療を必要とする患者さんと家族に看護を行います。過大侵襲を受け生命の危機的状況にある患者さんに対して、病態の変化を様々なモニタリングやフィジカルアセスメントから予測し、重症化や二次的合併症の予防のために早期に介入しています。

また、院内外の教育活動に携わり、より良い看護が実践できるような活動も行っています。

認知症看護



藤井看護師

「認知症看護認定看護師って何をする人？」の質問にお答えします。「入院した認知症高齢者、環境の変化などを原因としてせん妄がみられる患者さんの症状の軽減を担う看護師です。」患者さんが穏やかな入院生活を送ることができるように環境調整を行い、その方の生活歴を活かした看護を提供しています。

また、多職種で構成する認知症サポートチームのメンバーとして、認知症の方への対応方法についてスタッフにアドバイスも行っています。

皮膚・排泄ケア



高嵩看護師

褥瘡などの創傷管理・人工肛門や人工膀胱のストーマ・失禁等の排泄管理の3つの領域を専門としています。患者さんそれぞれのライフスタイルを考慮した上で、専門的視点からスタッフと協働し、ケアの方法を考え、患者さん、ご家族に寄り添える看護を提供する役割を担っています。

また、超高齢化社会や最新医療の発展とともに、看護の現場には様々なスキントラブルが発生しています。そのため、予防的スキンケアにも力を入れています。



脳卒中リハビリテーション看護



内村看護師

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師と聞いて何をやる人か分かりますか？「脳卒中？」「リハビリ？」、どちらか迷ってしまうと思います。リハビリテーション看護の患者さんの多くは脳卒中が原因です。

私は、超急性期～維持期に適切なリハビリテーションを行う役割を担っています。

地域でのイベント等にも積極的に参加していますので、見かけたら声を掛けてください。よろしくお祈りします。

救急看護



尾崎看護師
渡邊看護師

救急看護は、「命を救い、生を支える」ために看護を行う分野です。私たちは、救急処置・治療のサポートを行っています。病院内外で救急蘇生訓練や災害訓練に携わることもあります。

急病の人の年齢・性別・疾患・重症度はバラバラです。救急の場は、緊張感が高く、急病の人やその家族は不安を感じると思います。何を行っているのかを適宜お知らせして、苦痛や不安を軽減できる対応を心がけています。

がん性疼痛看護



大石看護師

がん罹患している患者さんの7割以上の人が何かしらの疼痛を経験していると言われています。

がん性疼痛看護認定看護師は、身体の痛みだけでなく心の痛みのケアも行います。療養支援部門と連携し、疼痛コントロールをしている患者さんの情報を得て、適切な痛み止めの使用をしているか、痛み止めの副作用対策がされているかを確認し、アドバイスをしています。

患者さんが身体や心の痛みを心配することなく入院生活から自宅療養、抗がん治療継続できるように支援します。

摂食・嚥下障害看護



望月看護師

皆さん、食べることは好きですか？食事は生命を維持するための欲であり楽しみでもあり、なにより心を豊かにしてくれますよね。残念ながら、病気や入院、加齢による衰えなどで、食べることが安全にできなくなり、誤嚥性肺炎になる患者さんが多くいます。摂食・嚥下障害看護認定看護師は、安全に楽しく食事ができるように、食べる機能の評価や食形態の検討、機能回復のための訓練やアドバイスをしています。また、院内の様々なスタッフと入院後から連携し、栄養や食べる機能についての問題に取り組んでいます。

コンシェルジュ室の紹介

令和5年4月1日に病院コンシェルジュ室を設置しました。
「～患者サービス・患者満足度の向上～来院患者目線に立った高いホスピタリティを実現する」を基本方針として活動しています。

主な業務



総合案内スタッフ 総合案内スタッフ コンシェルジュ室 総合案内スタッフ
原 啓子 森 真紀子 副看護部長 中野美起子 日原 千鶴

- ・ 総合相談の実施
- ・ 各種入院外来患者支援の連携
- ・ 患者サービス、患者満足度の向上に関する計画立案
- ・ 院内ラウンド

対応時間 | 月～金曜日
8:30～17:15

コンシェルジュ室の職員は、院内の事情に精通し、豊富な看護経験を有する看護師です。医師、外来看護師、療養支援看護師、入退院支援センタースタッフ、医療ソーシャルワーカー、事務職員、医事業務受託事業者など院内スタッフ全員で協力しながら、受診案内を始め、緊急患者さんの処置、救命救急センター受診の調整、部門間の横断的連携調整のほか、患者さんの困りごと相談など、幅広く対応しています。また、院内組織「患者サポートチーム」の一員として、患者さんからいただいたご意見などをもとにして、より快適な病院を目指しています。



コンシェルジュ室
担当：副看護部長 中野美起子

担当職員から

医療の現場を支える病院コンシェルジュは、来院された患者さんの目線に立ってサポートを行い、スムーズに受診できるようにする役割を担っています。コンシェルジュ室に配属されてから、「来院された方に、一番はじめに患者さんに寄り添ったサポートをすることが自分の役割」という思いで、正面玄関やロビー、外来で活動しています。

困ったことがありましたら、ぜひ、お気軽にお声掛けください。多くの患者さんのお役に立てばうれしいです。



沼津市立病院

NUMAZU CITY HOSPITAL

— 市民のために 共に歩む病院 —

沼津市立病院広報誌「ぬまピタル vol.29」
発行：広報委員会・病院管理課企画係
ぬまピタルバックナンバーはこちら →



〒410-0302 沼津市東権路字春ノ木 550 番地
Tel：055-924-5100（内線 2370）

Mail：byoin-so@city.numazu.lg.jp

ホームページアドレス：https://www.numazu-hospital.shizuoka.jp/